

# 森のなかのやすらぎ空間

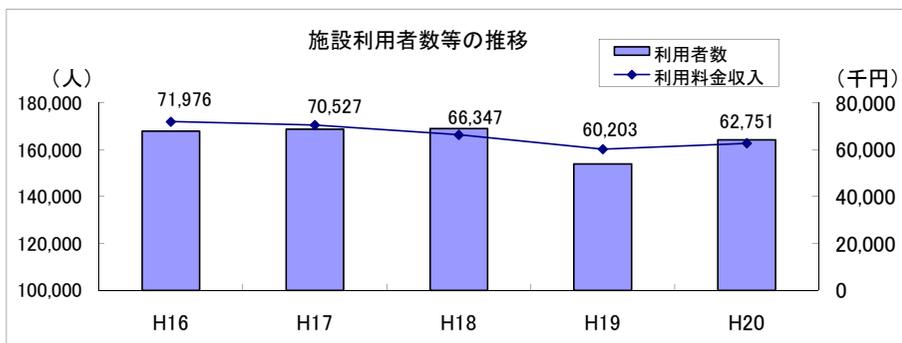
所在地	福井市真栗町47-51		
設置年月日	平成11年3月15日		
施設の種類	健康づくり、生きがいづくり施設	施設管理主体	指定管理者(財)福井県健康管理協会
設置の目的	生きがいづくりに関する講座を開催するとともに、生きがいづくりに必要な施設および設備を提供し、もって健康で生きがいのある県民生活の確保に資する。		
概要 (構造、面積、主な機能)	1F 交流ホール、ふれあい研修室、いきいき工房 等 2F 健康の湯(木の湯、土の湯)、くつろぎの間、音楽健康室、教養娯楽室 等		
職員数	指定管理者(職員7人)		

## 利用状況等

	H16	H17	H18	H19	H20
利用者数(人)	167,973	168,767	169,074	153,867	164,174
健康の森温泉	153,796	154,091	156,371	141,882	149,255
研修室貸出し・講座等	14,177	14,676	12,703	11,985	14,919

## 利用者負担(利用料金)等

利用料金(温泉)	大人	600円
	小学生以下	240円
	高齢者	480円



利用状況の推移	<p>《利用者数》 生きがい交流センターについては、前年度と比べ約10,000人(6.7%)増加しました。平成18年度まで連続して増加し、平成19年度は一時減少しましたが、平成20年度は利用者数を回復しました。</p> <p>《利用料金収入》 近年は利用者数が微増減していることもあり、60,000千円～70,000千円で推移しています。</p>
---------	---

## 施設の特徴

### ●健康の森温泉(土の湯、木の湯)

水風呂、露天風呂、サウナ、かぶり湯、全身浴高温、全身浴低温、寝湯、気泡浴、圧注浴、打たせ湯、水風呂、露天風呂、サウナ



### ●くつろぎの間

湯上がりの後に、100畳の広々とした和風空間で自然の美しい風景を見ながらゆっくり過ごせます。

### ●音楽健康室

家族やグループの仲間同士で、カラオケで好きな歌を歌い、心ゆくまで楽しめます。

最新の音響設備が整っており、リラックスしながら、過ごせます。

### ●教養娯楽室

心を見つめ、日本の伝統文化にふれてみる。庭園を備え、落ち着いた雰囲気茶室では、ひと味違った世界が感じられます。

### ●交流ホール

まぶしいほどの光が差し込む、明るく広々としたスペースです。人々の憩いの場として、グループ活動の発表の場、企業・団体等の研修会場などにご利用下さい。

### ●ふれあい研究室

これからの生きがいや健康を考え、そして人と人との交流を深める。高齢者のグループ教室や目的に合わせた研修などにご利用ください。

### ●いきいき工房

掘りごたつのスタイルに、冬でもあったかな床暖房を完備。木工などの創作活動にご利用ください。

## ふくい健康の森 ホームページ

<http://www.vcnet.fukui.fukui.jp/kenmori/>

## 平成20年度の特徴について

事業実績	<p>《指定管理制度の導入》 平成18年度から、(財)福井県健康管理協会が、指定管理者として管理運営を行っており、主体的に事業を展開しました。その結果、下記のとおり、利用者の利便性の向上、ニーズの反映など、より質の高いサービスの提供に取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民健康センターでの健康診断受診者への割引(健康の森温泉利用料金を半額)</li> <li>・7月、8月は全日開館(月曜の定休日も営業)</li> <li>・利用者のニーズを反映した教室等の開催(健康教室と温泉入浴を体験する一日教室、高齢者の生きがいづくりに関する講座、イベントの開催など)</li> </ul>
------	---

# ふくい健康の森 生きがい交流センター(2/2)

行政コスト計算書(平成20年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%	-
	退職給与引当金繰入	0	0.0%	-
	賞与引当金繰入	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	-
物にかかるコスト	物件費	45,715	25.9%	96.5%
	維持補修費	3,455	2.0%	20.1%
	減価償却費	111,682	63.2%	100.0%
	計	160,852	91.1%	91.3%
その他	支払利息	15,716	8.9%	85.3%
	その他	0	0.0%	0.0%
	計	15,716	8.9%	85.3%
合計		176,568	100.0%	90.7%
収入	利用料等収入	107	0.1%	100.0%
	一般財源	176,461	99.9%	90.7%

バランスシート(平成21年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	1,678,248	93.8%	固定負債	456,051	89.2%
うち建物・設備	1,678,248	93.8%	うち起債残高	456,051	89.2%
投資等	0	-	流動負債	55,195	98.6%
流動資産	0	-	純資産	1,167,002	95.4%
計	1,678,248	93.8%	計	1,678,248	93.8%

主な指標 (単位: %、円/人)

	H20	H19	前年比
住民1人当たり有形固定資産額	2,066	2,195	94.1%
住民1人当たり将来負担額	561	627	89.5%
世代間負担率	69.5%	68.3%	101.8%

バランスシート、行政コスト計算書の特色

平成20年度においては、物件費(前年度比△3.5%)および維持補修費(△79.9%)が減少しました。  
この結果、一般財源ベースでは、前年比9.3%減となり、県民1人あたりコストは9.2%減少しました。

バランスシート上、土地に関する資産は、健康スポーツ公園において、一括で計上しています。  
資産は、生きがい交流センター本館および付属設備となります。

けんこうスポーツセンター、健康スポーツ公園等と比較し、資産規模、起債残高が小さいため、県民1人あたり有形固定資産額や将来負担額は小さくなっています。また、減価償却費と支払利息で行政コスト全体の7割を占めております。

なお、健康の森3施設の整備で借入れた約188億円の県債は、平成20年度末残高で、約30億円まで償還が進んでいます。

施設の目的上、管理運営上、主要な事業

幅広い年齢層を対象に、くつろぎ・ふれあい・交流・活動の場を提供し、また、趣味・教養等の生きがいづくりを支援します。

- ①生きがいづくりに関する講座、教室を開催します。
  - ・生きがいづくり活動の発表・展示、高齢者の知識・技術等を活用した教室の開催
  - ・マレットゴルフなどのニュースポーツ大会の開催
- ②温泉を運営しています。
  - ・くつろぎ、ふれあい、交流できる健康の森温泉(木の湯、土の湯)等を運営
- ③生きがい交流センターの施設を提供します。
  - ・交流ホール、いきいき工房、ふれあい研修室、教養娯楽室の貸出し

今後の課題

●「ふくい健康の森」としてのサービスの提供  
福井県が設置したふくい健康の森は、公の施設としてすべての県民に対して、最大限のサービスを提供することを求められております。そのため、ふくい健康の森内にある県民健康センター(健診)、けんこうスポーツセンター等(運動)と連携を密にし、「ふくい健康の森」にしか提供できないサービスを提供することが必要です。

●多様化する利用者ニーズへの対応  
単に温泉に入浴する場を提供するだけの施設ではなく、高まる健康長寿への志向、利用者一人ひとりにあった趣味・生きがいへの支援など、多様化する利用者ニーズへの対応が必要です。

●競争力の向上  
県内には公営、民営の温浴施設など類似施設が数多くあり、他施設に負けない、利用者にとって魅力のある施設運営を図る必要があります。

今後の事業方針、取組み内容

●県民健康センターなどの施設と連携し、県民の健康増進、社会参加、生きがい活動の促進を図ります。  
(例) ふくい長生き温泉教室

●利用者ニーズを的確に把握し、目的性を持った生きがいづくりに関する教室を開催するなど、より一層の利用増進を図ります。  
(例) 健康の森ふれあいコンサート いきいき愛好会 生きがい創作講座

●リピーターの増加に力を入れ、より一層の利用増進を図ります。  
(例) 替わり湯 など

